

令和2年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
運動療法学Ⅱ		講義・実習	酒巻 直美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
運動における循環・代謝系の反応を復習し、循環・代謝系の障害と、その理学療法について理解することを目的とする。各論として、評価、運動処方、内部障害の代表的なものについて講義を行い、心臓リハビリテーション、代謝疾患のリハビリテーション（糖尿病）、腎機能障害のリハビリテーションについての理解を深めていきたいと考える。				
授業の到達目標				
1. 循環・代謝系の生理的反応を理解できる 2. 循環・代謝系の代表的な疾患と障害を理解できる 3. 循環・代謝系障害の評価と運動処方について理解できる 4. 代表的疾患として虚血性心疾患、心不全、糖尿病、慢性腎臓病と人工透析の包括的リハビリテーション、理学療法について理解できる				
授業計画				
回	内容			
1	内部障害総論・主要徴候			
2	内部障害の運動処方			
3	運動処方・運動負荷試験			
4	各種検査・心電図			
5	心臓リハビリテーション①虚血性心疾患			
6	心臓リハビリテーション②急性心筋梗塞の理学療法 急性期			
7	心臓リハビリテーション③急性心筋梗塞の理学療法 回復期			
8	心臓リハビリテーション④急性心筋梗塞の理学療法 維持期			
9	心臓リハビリテーション⑤心不全の理学療法			
10	代謝疾患のリハビリテーション①糖尿病			
11	代謝疾患のリハビリテーション②糖尿病の理学療法			
12	代謝疾患のリハビリテーション③糖尿病の理学療法			
13	腎機能障害のリハビリテーション①慢性腎臓病 疾患と理学療法			
14	腎機能障害のリハビリテーション②慢性腎臓病 人工透析の理学療法			
15	リスク管理 まとめと解説			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	90%			
レポート				
小テスト	10%	適宜実施する。		
平常点		授業態度や取り組む姿勢を評価し、総合点に加点減点する。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
シンプル理学療法学シリーズ 内部障害理学療法学テキスト	細田多穂 監修	南江堂		
改訂第3版				
自由記載	講義用プリントを配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
1年生で使用した解剖学・生理学の教科書や資料				
自由記載				
備考				